令和8年度版「学力向上ポートフォリオ（学校版）」【七里中学校】

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する資質・能力	生徒の学ぶ意欲・基礎学力の向上＝教職員の指導力・授業力の向上 (1)学習意欲の向上 (2)基礎・基本の定着 (3)自らすすんで学習する習慣の定着
⇓	
実施する学力向上策【時期・頻度】	(1)毎学期2回以上、教職員がお互いに授業を参観し、「七里中学ぶことが楽しい授業メソッド」の作成を通して、教職員の指導力・授業力を向上させ、生徒が楽しいと思う授業を実践することで、学習意欲の向上へとつなげる。 (2)授業中において各単元の中で1回以上、基本的な漢字・計算・英単語・重要語句・化学式などの小テストを行い、反復練習を実施する。 (3)毎朝、短時間学習を教育課程に位置付け、スタディサプリを積極的に活用した学習を実施する。また、月1回（原則として木曜日の6校時）「学びの時間」として、個に応じた学びの調整時間を設定し、生徒が自学自習に取り組む。

②	全国学力・学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	国語では情報の扱い方に関する事項の正答率が県平均を上回った一方、数学の関数領域や国語の「読むこと」の正答率が県平均を下回るなど、情報の整理はできるものの、根拠を基に内容を読み取ったり説明したりする問題に課題が見られた。
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	基礎的な知識や情報を整理する力は身に付いているが、文章や表・グラフから必要な情報を読み取り、自分の考えや判断を根拠とともに筋道立てて表現する力には課題が見られる。

③	中間評価	
学力向上策の実施状況	評価（※）	授業参観による授業改善、小テスト等による反復学習、朝学習や「学びの時間」の取組を概ね計画どおり実施することができた。 生徒の学習への取組姿勢や基礎・基本の定着に一定の成果が見られる一方、自分の考えを根拠をもって説明する力の向上については引き続き指導の充実が必要である。
	B	
⇓		
学力向上策の見直し	（変更なし）	

※評価　A 8割以上（達成）B 6割以上（おおむね達成）C 6割未満（あと一歩）

④	さいたま市学習状況調査結果の分析
特徴的な結果	
⇓	
結果から考えられる児童生徒の実態	

⑤	年度末評価	
学力向上策の実施状況	評価（※）	
⇓		
今年度の成果と次年度の課題		

※評価　A 8割以上（達成）B 6割以上（おおむね達成）C 6割未満（あと一歩）